白浜町 津波ハザードマップ

富田地域

想定地震 **南海トラフの巨大地震**

この津波ハザードマップは、和歌山県が平成25年に公表した「南海トラフの巨大地震」及び「東海・東南海・南海3連動地震」の津波浸水想定を基に作成したものです。

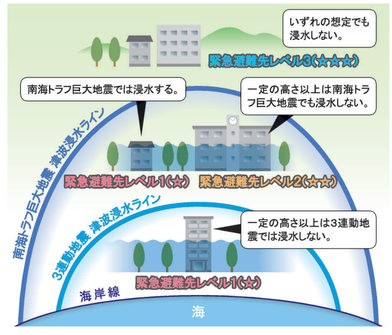
津波からの避難場所は、付近の高台です。地震の揺れを感じたときは、防災行政無線のサイレンや放送を聞いてからではなく、揺れがおさまったら直ちに避難行動を開始してください。東日本大震災の教訓に学び、想定にとらわれることなく、可能な限り高い所へ避難することが肝要です。いざというときのために、毎日の避難訓練や避難路の確認が有効です。

マップには、町が把握している初期避難場所（高台等 、津波避難ビル 、津波避難タワー ）を表示しています。この他にも、自宅の裏山など近くの安全な高台への避難をお願いします。

なお、町が開設する避難所（ ）は、地震・津波の直接の危険性が去った後、避難生活をするために使用するものです。

避難先の安全レベルについて

和歌山県は、独自の取り組みとして避難先の安全レベルの設定を行っています。避難先の安全レベルの考え方については次のとおりです。



緊急避難先レベル3(☆☆☆)
「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域外の安全な場所を指定。

緊急避難先レベル2(☆☆)
緊急避難先(レベル3)へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内にあり、「南海トラフの巨大地震」による津波の浸水深より高い場所。

緊急避難先レベル1(☆)
緊急避難先(レベル2及び3)へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波では浸水する場所。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域内で、「東海・東南海・南海3連動地震」による津波の浸水深より高い場所。

●津波ハザードマップの想定地震●

南海トラフの巨大地震 マグニチュード 9.1
科学的知見に基づき推計した最大クラスの地震です。発生頻度は極めて低いとされています。

東海・東南海・南海3連動地震 マグニチュード 8.7
約90年から150年周期という高い頻度で繰り返し発生している地震です。

津波対策10か条

津波から身を守る最大のポイントは、「逃げるが勝ち」です。地震発生後、津波による災害の発生が予想されたら、すぐに避難しましょう。

1 家族会議を開こう

避難する場所を事前に家族で話し合っておきましょう。

2 小さな揺れでも油断禁物！

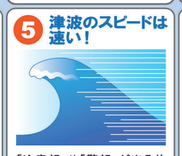
小さな揺れでも津波の危険性があります。

3 引き潮がなくても注意！

津波の前に引き潮が必ずあるとは限りません。

4 満潮のときは要注意

水位が高くなっているので、被害が大きくなります。

5 津波のスピードは速い！

「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあります。ただちに避難しましょう。

6 高い場所へ避難する

海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。

7 注意報、警報が出たら

家族や近所に知らせ、急いで高台に避難しましょう。

8 正しい情報を聞く

ラジオ・防災無線などで、正しい情報を聞きましょう。

9 津波はくり返し来る！

津波はくり返し襲ってきます。波が落ち着くまでは避難しておきましょう。

10 海岸・河川に近づかない

「注意報」や「警報」が解除されるまで、海辺や河川には近づかない。

町が開設する避難所一覧

避難所名	住　所	電話番号
西富田小学校	白浜町才野47番地	45-0024
富田中学校	白浜町栄320番地	45-0059
百々千園	白浜町中 1652 番地	45-0335
清掃センター	白浜町保呂749番地	45-3800
上下水道課庁舎	白浜町平956番地	45-2000
児童館・町立体育館	白浜町十九渕237番地	45-2117
富田小学校	白浜町十九渕545番地	45-0073

初期避難場所(高台等)一覧

No.	名　称	海抜(m)	緊急避難先レベル
49	堅田地区1(西越集会所敷地)	24.0	☆☆☆
50	堅田地区2(聖福寺敷地)	27.0	☆☆☆
51	堅田地区3(上観音敷地)	19.0	☆☆☆
52	堅田地区4(櫛ヶ峯集会所敷地)	32.0	☆☆☆
53	堅田地区5	14.7	☆☆☆
54	堅田地区6	16.8	☆☆☆
55	堅田地区7(東の公園)	12.5	☆☆☆
56	堅田地区8(玉彦神社敷地)	21.5	☆☆☆
57	堅田地区9(五月ヶ丘)	14.9	☆☆☆
58	堅田地区10	18.2	☆☆☆
59	堅田地区11	39.4	☆☆☆
60	堅田地区12	10.5	☆☆☆
61	堅田地区13	18.6	☆☆☆
62	堅田地区14	31.1	☆☆☆
63	堅田地区15(元ビーチゴルフ敷地)	30.0	☆☆☆
64	堅田地区16	17.1	☆☆☆
65	堅田地区17	15.4	☆☆☆
66	堅田地区18	19.6	☆☆☆
67	堅田地区19(白浜サニービーチ多目的広場)	28.2	☆☆☆
68	堅田地区20	26.7	☆☆☆
69	堅田地区21	12.6	☆☆☆
70	才野地区2	25.8	☆☆☆
71	才野地区3	40.4	☆☆☆
73	才野地区5	19.1	☆☆☆
74	才野地区6	30.2	☆☆☆
75	才野地区7	19.5	☆☆☆
76	才野地区8	16.4	☆☆☆
77	才野地区9	12.0	☆☆☆
78	才野地区10(熊野神社敷地)	38.4	☆☆☆
79	才野地区11	42.6	☆☆☆
80	才野地区12(西富田小学校敷地)	10.3	☆☆☆
81	才野地区13(花弁団地)	13.6	☆☆☆
82	才野地区14	50.0	☆☆☆
84	栄地区1	41.6	☆☆☆
85	中地区2(中地区津波避難タワー)	6.5	☆☆(津波避難タワー)
86	中地区1(クオリティソフト株式会社敷地)	40.6	☆☆☆
87	中地区3(中地区津波避難ビル)	7.2	☆☆(津波避難ビル)
88	保呂地区1(清掃センター敷地)	67.0	☆☆☆
89	内ノ川地区1(林翁寺敷地)	22.1	☆☆☆
90	内ノ川地区2(北富田小学校敷地)	11.2	☆☆☆
91	内ノ川地区3(内ノ川ふれあい会館敷地)	14.8	☆☆☆
92	平地区1(平老人憩いの家敷地)	24.6	☆☆☆
93	平地区2	23.6	☆☆☆
94	平地区3	22.4	☆☆☆
95	平地区4	19.9	☆☆☆
96	平地区5	18.2	☆☆☆
97	平地区6	11.3	☆☆☆
98	平地区7	16.0	☆☆☆
99	富田地区救命艇	1.5	☆(救命艇)
100	富田地区2	29.7	☆☆☆
101	富田地区3(草堂寺横)	13.7	☆☆☆
102	富田地区4	15.8	☆☆☆
103	富田地区5	15.6	☆☆☆
104	富田地区6	24.3	☆☆☆
105	富田地区7	13.9	☆☆☆
106	富田地区8	23.6	☆☆☆
107	富田地区9	48.3	☆☆☆
108	富田地区10(飛鳥神社敷地)	17.4	☆☆☆
109	富田地区11	17.1	☆☆☆
170	富田地区12(軽費老人ホームケアハウス南紀)	4.2	☆(津波避難ビル)
110	十九渕地区1(加勝寺敷地)	18.2	☆☆☆
111	十九渕地区2(小倉山)	43.6	☆☆☆
115	平間地区1(満願寺敷地)	15.0	☆☆☆

津波到達時間

+1m：6分
+3m：8分
+5m：9分
+10m：20分

津波到達時間について

この表示の付近における高さ1m、3m、5m、10mの津波の到達時間を示しています。

津波避難の3原則

1 想定にとらわれるな！
●このハザードマップに掲載している震度分布や津波の浸水域は、あくまでひとつの「想定」です。実際の地震や津波が想定通りになるとは限りません。

2 率先避難者たれ！
●強い地震や、弱くても長い地震があった後は、津波の危険性があります。津波警報などの情報を待たず避難しましょう。
●家族が離れたところにいた場合、迎えに行こうとすると避難が遅れてしまいます。津波から逃れた後、再会することとして、自分ひとりでも避難しましょう。率先して避難することで、周囲の人の避難を促すことにも繋がります。

3 最善をつくせ！
●実際にどこまで浸水するかといったことは、事前にはわかりません。その時に考えられる最善を尽くして、あきらめず避難しましょう。

参照：群馬大学大学院　片田敏孝 教授著「人が死なない防災（集英社新書）」

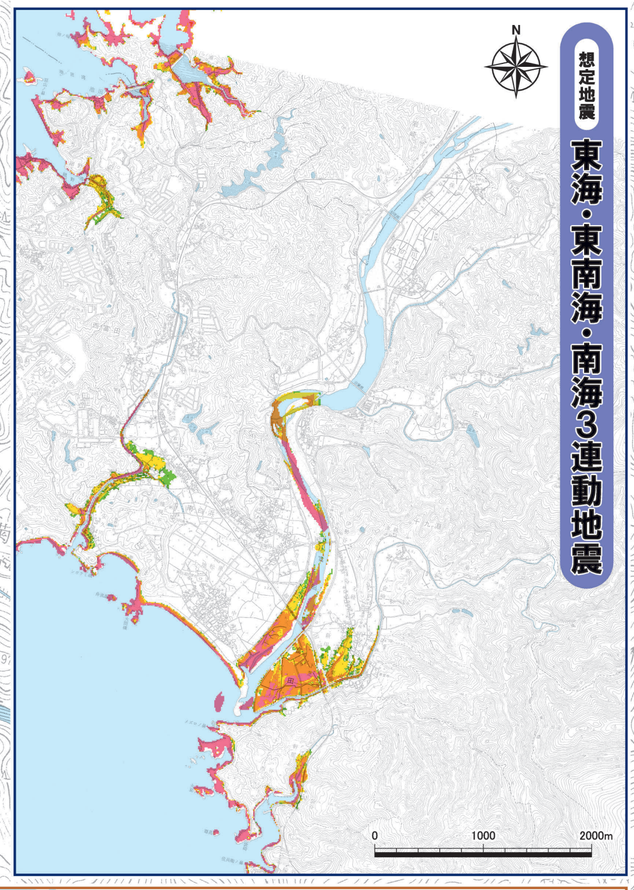
●津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。これまで8段階で発表していた「予想される津波の高さ」について、被害との関係や、予想される高さが大きいほど誤差が大きくなることなどを踏まえ、5段階に集約しました。

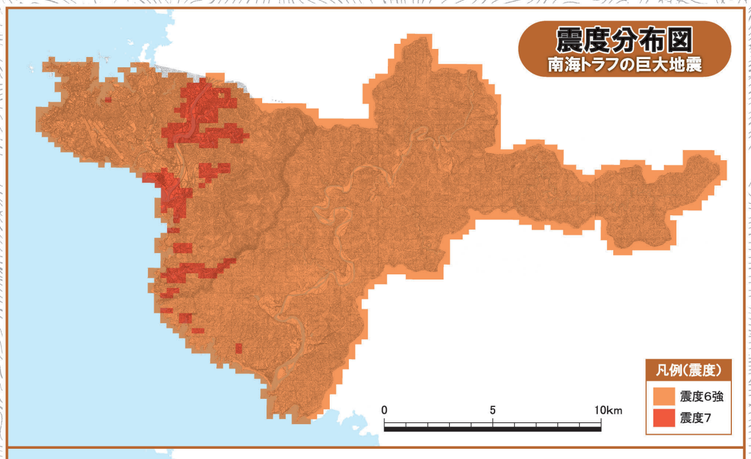
	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表	巨大地震の場合の発表		
大津波警報（特別警報に位置付け）	10m超（10m＜高さ）	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m（5m＜高さ≦10m）			
	5m（3m＜高さ≦5m）			標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波警報	3m（1m＜高さ≦3m）	高い		
津波注意報	1m（20cm≦高さ≦1m）	（表記しない）	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。 津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれます。小型船舶が転覆します。

●震源が陸地に近いと津波警報が間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
●津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
●地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報（若干の海面変動）」を発表します。

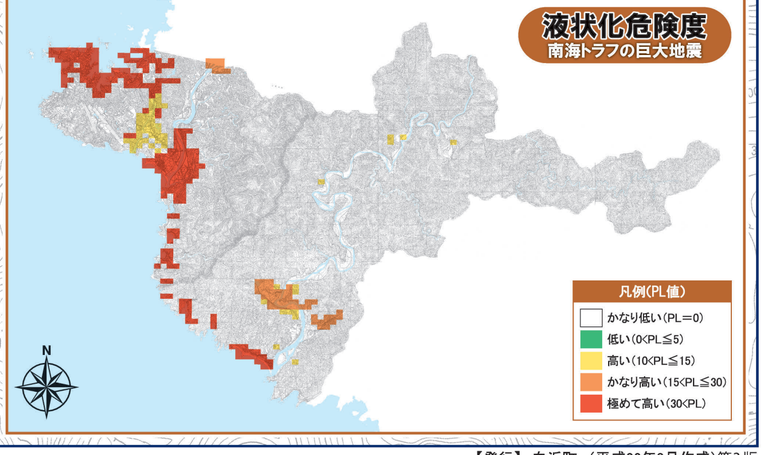
想定地震 東海・東南海・南海3連動地震



震度分布図
南海トラフの巨大地震



液状化危険度
南海トラフの巨大地震



凡例(施設等)：高台等／津波避難ビル／津波避難タワー／町が開設する避難所／鉄道／国道／県道

凡例(浸水予測範囲)：0.01～0.3m未満／0.3～1m未満／1～2m未満／2～5m未満／5～10m未満／10～20m未満

震度分布図及び液状化危険度予測図は、平成26年に和歌山県が作成した調査結果を基に作成したものです。

【発行】 白浜町 （平成26年3月作成）第3版